

次年度の取組み内容及び検討事項について

エコドライブ・エコ通勤推進プロジェクト

エコドライブ普及拡大

- ・ お出かけ講座に追加し、講習を受けた職員が講座を実施
- ・ エコドライブによるメリットを明確にし、各家庭用に広報活動を行う。

エコ通勤の普及拡大

- ・ エコ通勤によるメリットを広報番組等で頻繁に伝えていく。

省エネライフ教育実践プロジェクト

エコツアー

- ・ 小学校4年生対象の子どもエコツアーは引き続き実施
バスの移動時間に、エコ活動の必要性を問いかけ、考えてもらう。
見学施設の見直し。現在7施設 生活廃棄物関連施設4施設、水資源施設1施設、自然エネルギー関係施設2施設
- ・ 地区の衛生役員対象としたエコツアーの実施

エコ講習会の実施

- ・ 保育園、小学校、中学校、各地区へ繰り返しPR活動を行う。

環境家計簿の普及

- ・ 小学4年生を対象にエコノートを配布し、環境学習に役立ててもらおう。
- ・ 家庭用にエコシートを配布。

Eco 検定の普及拡大

- ・ 広報誌等によりPR活動を行う。

森のエネルギー循環プロジェクト

薪・ペレットストーブの普及拡大

- ・ ペレットストーブ、ペレットの価格、電気・灯油ストーブとの比較、利点、設置者の声などを広報していく。
- ・ 「木の駅」の設置の可能性を検討。

再生可能エネルギー活用プロジェクト

- ・ 上伊那自然エネルギー推進協議会と協力し、普及啓発活動を行う。

エコドライブ・エコ通勤推進プロジェクト	
エコドライブ普及拡大	<p>運転管理者の会議でのPRは不可能となりましたので、新たな普及拡大方法、取組内容について提案をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 停車中のアイドリングストップは、冬季は無理でも夏季は実施可能と思われるため、コンビニ、スーパー等へ取組をアピール ・ 事業所だけでなく、各家庭への周知も必要。 ・ エコドライブは実践すると家計の一助になる。交通の流れや先を読む運転を心がける。ノロノロ運転ではなく、スムーズな運転をすることがエコドライブということアピールすることが大切。 ・ エコドライブ講習が安い料金で受講できるようになれば、多くの方が参加できると思う。 ・ 「エコドライブ実施中」のようなステッカー使用はどうか。 ・ 伊那市環境展 2016 等へ出展し、エコドライブの体験報告をしてみてもどうか。
エコ通勤の普及拡大	<p>広報誌等への掲載や、事業所への呼びかけを行っていきますが、この他に普及拡大につながる方法について御提案ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通網が整備されていない現状では難しいと思われる。 ・ 通勤と同時に通学の手伝いを行っている方も多と思われる。 ・ 手始めに市役所職員が、月に一度公共交通機関を利用して通勤し、手本となって徐々に広めていく。 ・ エコ通勤による環境改善効果よりも、自分がどのくらい得をするのかをダイレクトに伝える方が理解されやすい。自身の得＝環境の得を伝えてはどうか。 ・ 健康推進課と連携し、徒歩、自転車通勤を健康面から普及拡大してはどうか。 ・ 交通の便が良いとはいえない地域なので、通勤にあたっては自動車が欠かせないともいえます。1人1人が四輪車から二輪車、自転車、徒歩とエコ通勤を意識しながら努力していくしかないと思います。
その他取組	<p>このプロジェクトに関する新たな取組内容について御提案ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他部署との連携を要するが、公共交通機関の現状のシステムでは対応できないのは明白。 ・ 利用者がいないから減便する発想から、増便して利用者を増やすことをしていかなければしりつぼみになる。 ・ 信号待ちでアイドリングストップを試みってみたが、決してできないことではない。 ・ 燃料がどの程度軽減できるか、データに基づく呼びかけが必要と思われる。 ・ データ検索を行い、採用できそうなものであれば、広報、啓蒙する手段を考えていく。 ・ 公共交通は大勢が利用するとタイヤが増え、利便性が良くなり利用者が増加する環境ができる。その流れを生む方法が課題と思われる。

省エネライフ教育実践プロジェクト	
エコツアー	子ども向け環境学習として、小学4年生を対象に子どもエコツアーを実施しています。これ以外に、大人も参加したくなるような環境学習方法について御提案ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設見学の際に親子で話題にし「どうしたらよいか」を考えてもらう。 ・ 「大人の社会見学」として各地区の衛生自治会役員を対象に廃棄物処理場の見学をしてもらう。 ・ お母さん方の環境に対する感覚はとても強い。保育園児に対する環境学習は効果的と考えられるため、可愛い教材を用意して遊びから入るのが良い。 ・ 小水力発電施設を見学施設に加える。地産地消されていることアピールすることで化石燃料や原発に対する考えが変わると思われる。 ・ 公民館活動と連携してはどうか。地域とつながるエコツアーの企画と推進ができればよい。 ・ 伊那テクノバレー地域センターで実施している、天竜川環境ピクニックへの参加。
エコ講習会の実施	広報やエコツアーの際に PR していきますが、この他に普及拡大につながる方法について御提案ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生ごみを捨てる際にビニール袋を使わず、広告紙で作成した箱を作りこれを使って捨てる方法の PR ・ 繰り返し PR を行っていく。 ・ 各保育園・小学校・中学校に出かけての PR が大事。それぞれの保護者を巻き込まねば成り立たない。NPO 団体の活用が効果的。
環境家計簿の普及	小学4年生を対象にエコノートを配布予定ですが、この他に普及拡大につながる方法について御提案ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何故エコ活動を行うのかを子供たちに考えてもらうよう問いかけを行う。 ・ 自分のエコ活動により「こんな効果がある」など具体的に示す。 ・ エコノートも良いが、費用的にはシートが良いと思われる。ここから始めステップアップしていく。全戸配布しコンクールの的に行う。
Eco 検定の普及拡大	広報誌等により PR していきますが、この他に普及拡大につながる方法について御提案ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必ずしも必要なものではないため、難しいと思われる。 ・ 検定の言葉が固い。クイズに答える手法で浸透させることが良い。 ・ 手を変え品を変えて繰り返すことで良い結果に結びつくと考え。
その他取組	このプロジェクトに関する新たな取り組み内容について御提案ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供たちへの教育がやがて大人になった時に、当たり前として行動できるよう、絶えず話題にし、身近なこととしていく。クイズ形式などもよいのでは。 ・ 経済的なメリットを強調することが現在の世情にあっている。消費税の増税時期のタイミングを利用することも良いのでは。エコは得するというを徹底的に PR すべき。 ・ エアコンの機械熱が温暖化を加速させている一面があるという観点から「夏に比較的過ごしやすい伊那谷の住宅にエアコンは必要か」という意見を何かの機会に、問題提起してはどうか。 ・ 伊那商工会議所女性会では、レジ袋削減のため、エコバックを作成して PR 活動をしています。何かと連携はできないでしょうか。

森のエネルギー循環プロジェクト	
薪・ペレットストーブの普及拡大	補助事業以外に普及拡大につながる方法を御提案ください。 <ul style="list-style-type: none"> ペレットストーブ、ペレットの価格、電気・灯油ストーブとの比較、利点、設置者の声などを広報していく。 原材料確保（森林整備）がネック。市としてフィールドの確保を要する。 「木の駅」の設置の可能性を検討してはどうか。 電気を使わないペレットストーブの開発。 ペレットと薪の両方を使えるストーブの開発。
その他取組	このプロジェクトに関する新たな取組内容について御提案ください。 <ul style="list-style-type: none"> 業種間の連携が重要。 NPO 団体の活用がキープポイントとなる。利害関係が薄い。

再生可能エネルギー活用プロジェクト	
自然エネルギー普及拡大施策としてH20～H23 年度まで「太陽光発電システム設置補助」H24～「太陽熱利用システム設置補助」を実施しています。今後さらなる自然エネルギーの普及ため、どのような取組が必要となるか御意見、御提案をお願いします。 <ul style="list-style-type: none"> 建築業界、ハウショールームなどで、新築の際に設置奨励していく。既築の場合 10 年位経過すると、屋根の補修時期と重なり設置しづらくなると思います。 各家庭での再エネの地産地消を目指し、太陽光発電設置補助の復活。 水力・風力の活用。 再エネ活用以前にエネルギーの使い過ぎに慣れた生活習慣を変えなければいけない。 理想として、新築住宅の太陽光発電システム設置義務化（国の補助制度創設）。 産学協同研究の模索 まだ補助のない小エネルギー生産への支援や情報発信ができることよい。 各家庭の白熱球を LED 電球などへ取り替えを進める。 	
その他の取組	このプロジェクトに関する新たな取組内容について御提案ください。 <ul style="list-style-type: none"> ハウス園芸栽培の温室効果ガス排出削減 A 重油焚き暖房器をヒートポンプに転換、循環扇の利用、ハウス内張り多層化、外張り多重化 国の補助事業やリース事業を利用

【年度別スケジュール】

取組項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
家庭の省エネ・節電活動	重点取組	→	→	→	→	→	→
事業所の省エネ・節電活動	→	→	→	→	→	→	→
ごみの減量	重点取組	→	→	→	→	→	→
森のエネルギー循環プロジェクト		実施内容の検討	→	重点取組	→	→	→
省エネライフ教育実践プロジェクト		実施内容の検討	重点取組	→	→	→	→
エコドライブ・エコ通勤推進プロジェクト	実施内容の検討	重点取組	→	→	→	→	→
再生可能エネルギー補助					補助事業の実施 再生可能エネルギーの生産と使用の検討		
	3,000 t-CO2	19,000 t-CO2	21,000 t-CO2	21,000 t-CO2	15,000 t-CO2	12,000 t-CO2	7,000 t-CO2